

データヘルス計画（第2期） 年次報告書

[令和2年度]

最終更新日：令和3年06月30日

ライク健康保険組合

STEP 1-1 基本情報

組合コード	63747
組合名称	ライク健康保険組合
形態	単一
業種	労働者派遣業

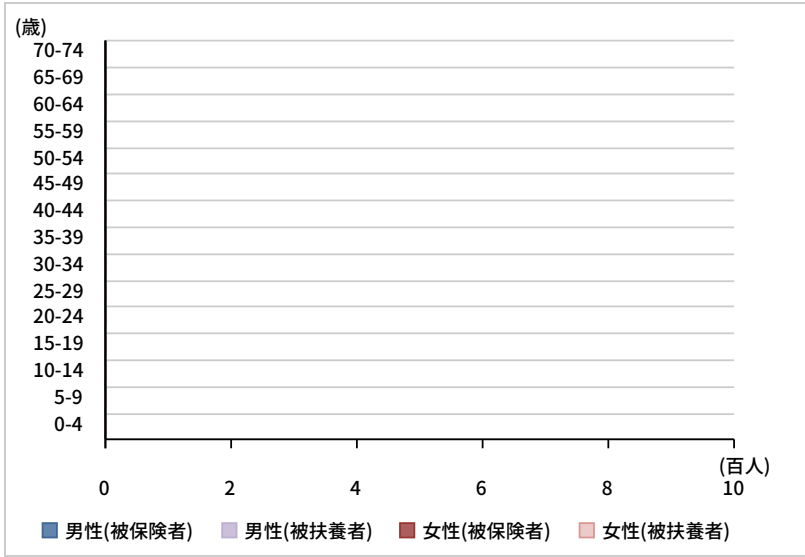
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保険者を除く	0名 男性0% (平均年齢0歳) * 女性0% (平均年齢0歳) *	8,158名 男性32.0% (平均年齢32.2歳) * 女性68% (平均年齢35歳) *	8,280名 男性32% (平均年齢34.0歳) * 女性68% (平均年齢36.0歳) *
特例退職被保険者数	0名	0名	0名
加入者数	0名	9,594名	9,436名
適用事業所数	0カ所	6カ所	7カ所
対象となる拠点数	0カ所	6カ所	7カ所
保険料率 *調整を含む	0%	98.6%	98.6%

		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	0	0	0	0	0	0
	保健師等	0	0	0	0	0	0
事業主	産業医	0	0	0	2	0	2
	保健師等	0	0	0	0	0	0

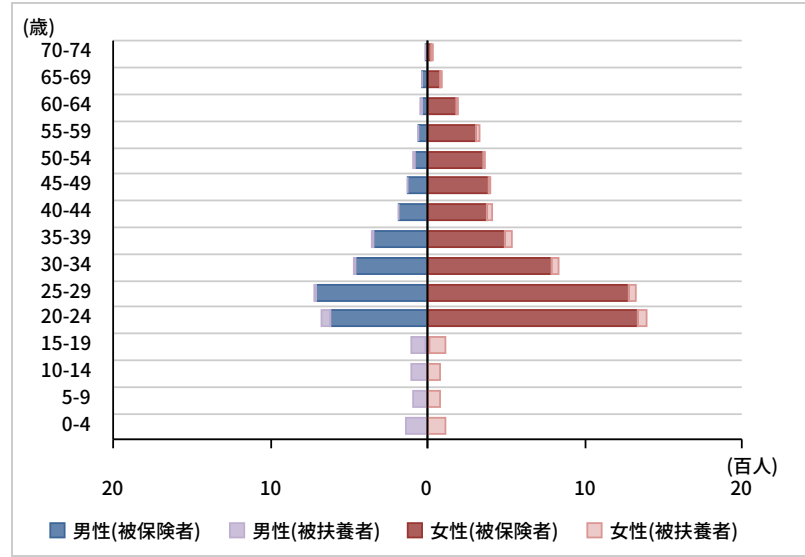
		第2期における基礎数値 (平成28年度の実績値)	
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数 ÷ 特定健康診査対象者数)	全体		- / - = - %
	被保険者		- / - = - %
	被扶養者		- / - = - %
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数 ÷ 特定保健指導対象者数)	全体		- / - = - %
	被保険者		- / - = - %
	被扶養者		- / - = - %

		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	0	-	70	9	350	42
	特定保健指導事業費	0	-	560	69	5,830	704
	保健指導宣伝費	0	-	11,265	1,381	1,908	230
	疾病予防費	0	-	14,376	1,762	33,442	4,039
	体育奨励費	0	-	0	0	0	0
	直営保養所費	0	-	0	0	0	0
	その他	0	-	0	0	0	0
	小計 …a	0	-	26,271	3,220	41,530	5,016
経常支出合計 …b	0	-	2,212,230	271,173	2,145,353	259,101	
a/b×100 (%)	-	-	1.19		1.94		

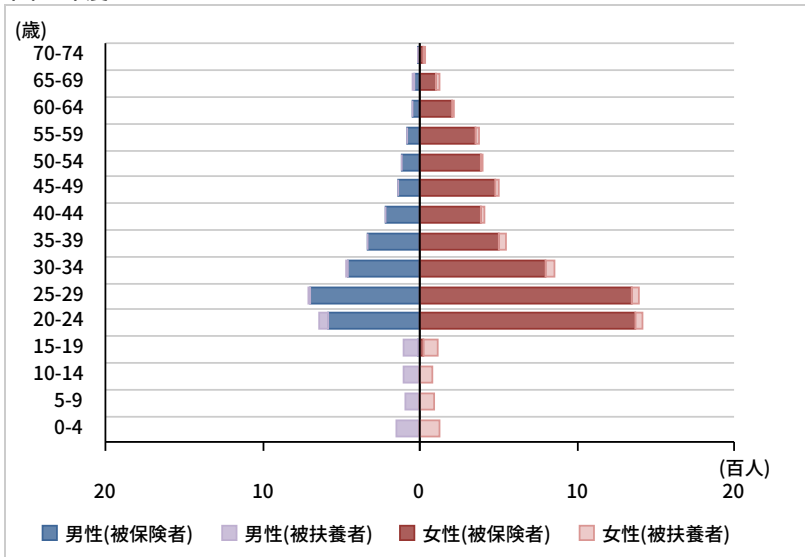
平成30年度



令和元年度



令和2年度



男性（被保険者）

平成30年度				令和元年度				令和2年度			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	0人	5～9	0人	0～4	0人	5～9	0人
10～14	0人	15～19	0人	10～14	0人	15～19	15人	10～14	0人	15～19	10人
20～24	0人	25～29	0人	20～24	613人	25～29	705人	20～24	588人	25～29	702人
30～34	0人	35～39	0人	30～34	457人	35～39	340人	30～34	456人	35～39	330人
40～44	0人	45～49	0人	40～44	187人	45～49	121人	40～44	219人	45～49	141人
50～54	0人	55～59	0人	50～54	85人	55～59	59人	50～54	117人	55～59	75人
60～64	0人	65～69	0人	60～64	32人	65～69	35人	60～64	48人	65～69	35人
70～74	0人			70～74	10人			70～74	13人		

女性（被保険者）

平成30年度				令和元年度				令和2年度			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	0人	5～9	0人	0～4	0人	5～9	0人
10～14	0人	15～19	0人	10～14	0人	15～19	17人	10～14	0人	15～19	23人
20～24	0人	25～29	0人	20～24	1,333人	25～29	1,275人	20～24	1,376人	25～29	1,343人
30～34	0人	35～39	0人	30～34	788人	35～39	490人	30～34	803人	35～39	501人
40～44	0人	45～49	0人	40～44	374人	45～49	393人	40～44	385人	45～49	481人
50～54	0人	55～59	0人	50～54	355人	55～59	314人	50～54	386人	55～59	350人
60～64	0人	65～69	0人	60～64	179人	65～69	80人	60～64	201人	65～69	98人
70～74	0人			70～74	20人			70～74	27人		

男性（被扶養者）

平成30年度				令和元年度				令和2年度			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	141人	5～9	89人	0～4	149人	5～9	95人
10～14	0人	15～19	0人	10～14	105人	15～19	96人	10～14	100人	15～19	95人
20～24	0人	25～29	0人	20～24	57人	25～29	10人	20～24	60人	25～29	16人
30～34	0人	35～39	0人	30～34	13人	35～39	8人	30～34	12人	35～39	5人
40～44	0人	45～49	0人	40～44	5人	45～49	3人	40～44	5人	45～49	5人
50～54	0人	55～59	0人	50～54	6人	55～59	2人	50～54	4人	55～59	4人
60～64	0人	65～69	0人	60～64	6人	65～69	5人	60～64	5人	65～69	8人
70～74	0人			70～74	5人			70～74	5人		

女性（被扶養者）

平成30年度				令和元年度				令和2年度			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	119人	5～9	79人	0～4	130人	5～9	88人
10～14	0人	15～19	0人	10～14	77人	15～19	100人	10～14	82人	15～19	96人
20～24	0人	25～29	0人	20～24	60人	25～29	48人	20～24	48人	25～29	42人
30～34	0人	35～39	0人	30～34	48人	35～39	42人	30～34	58人	35～39	40人
40～44	0人	45～49	0人	40～44	31人	45～49	14人	40～44	26人	45～49	19人
50～54	0人	55～59	0人	50～54	12人	55～59	19人	50～54	9人	55～59	27人
60～64	0人	65～69	0人	60～64	10人	65～69	16人	60～64	14人	65～69	19人
70～74	0人			70～74	10人			70～74	10人		

基本情報から見える特徴

男女比： 令和元年度と同じ
平均年齢：令和元年度より1歳上昇

STEP 1-2 保健事業の実施状況

保健事業の整理から見える特徴

特定健診： 被扶養者の受診率が低い。一因として、対象者のうち（派遣労働者の）親の比率が3割近くを占めていることが考えられる。

特定保健指導： 被保険者の健診受診への関心度は低くないが、受診しただけで終わっていて、健診結果に基づき、二次健診を受けている人の割合が低い。特定保健指導への関心も低い。

事業の一覧

職場環境の整備

加入者への意識づけ

個別の事業

事業主の取組

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予 算 科 目	注1) 事業 分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費 (千円)	振り返り			注2) 評価
				資格	対象 事業所	性別	年 齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
職場環境の整備													
加入者への意識づけ													
個別の事業													

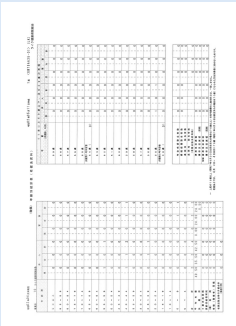
注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 訪問指導 8. その他

注2) 1. 39%以下 2. 40%以上 3. 60%以上 4. 80%以上 5. 100%

事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同 実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
事業主の取組								

STEP 1-3 基本分析

登録済みファイル一覧

記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア		年齢別加入者数	加入者構成の分析	-

事業所 10 ライク健康保険組合

年齢層	本 人		家 族		計
	男	女	男	女	
90以上	0	0	0	0	0
85~89	0	0	0	0	0
80~84	0	0	0	0	0
75~79	0	0	0	0	0
70~74	0	0	0	0	0
65~69	0	0	0	0	0
60~64	0	0	0	0	0
55~59	1	0	1	0	1
50~54	0	0	0	0	0
45~49	0	0	0	0	0
40~44	1	1	2	1	1
35~39	0	0	0	0	0
30~34	0	0	0	0	0
25~29	0	1	1	0	0
20~24	0	0	0	0	0
15~19	0	0	0	0	0
10~14	0	0	0	0	0
5~9	0	0	0	0	0
0~4	0	0	0	0	0
合 計	2	2	4	2	2
平均年齢	49.50	35.50	42.50	0.00	24.00
扶養率					0.50
6歳未満算出	0	0	0	0	0
高齢受給者再掲	0	0	0	0	0
(数)再掲	0	0	0	0	0
老健(除算者)再掲	0	0	0	0	0
老健法該当者の月額合計 (単位千円)	0	0	0	0	0

年 齢 (月額計:千円)	本 人		家 族		計
	男	女	男	女	
69歳	0	0	0	0	0
68歳	0	0	0	0	0
67歳	0	0	0	0	0
66歳	0	0	0	0	0
65歳	0	0	0	0	0
介護第1号予定者 64歳(0)	0	0	0	0	0
63歳	0	0	0	0	0
62歳	0	0	0	0	0
61歳	0	0	0	0	0
60歳	0	0	0	0	0
59歳	0	0	0	0	0
58歳	0	0	0	0	0
57歳	0	0	0	0	0
56歳	0	0	0	0	0
55歳	1	0	1	0	1
介護第2号予定者 39歳(0)	0	0	0	0	0

特定疾病該当者数	0	0	0	0	0
継続養給該当者数	0	0	0	0	0
選開地該当者数					
選開地該当者再掲 (老健法該当者再掲)					
標準負担減額	0	0	0	0	0
標準負担減額(妻側)	0	0	0	0	0
任職標準負担減額	0	0	0	0	0
標準負担減額(妻側)	0	0	0	0	0

一 上記の75歳以上(昭和7年9月30日以前生まれの場合は70歳以上)の各年齢層の人数合計とは、一致しません。
老健法上では、4月2日~4月末日に75歳(昭和7年9月30日以前生まれの場合は70歳)になられた方は対象者に含めないためです。

事業所 11 ライク株式会社

年齢層	本人		家族	
	男	女	男	女
90以上	0	0	0	0
85~89	0	0	0	0
80~84	0	0	0	0
75~79	0	0	0	0
70~74	0	0	0	0
65~69	0	0	0	0
60~64	0	0	0	0
55~59	1	0	1	1
50~54	0	1	1	0
45~49	4	0	4	1
40~44	3	0	3	1
35~39	2	2	4	1
30~34	3	4	7	2
25~29	3	9	12	0
20~24	8	8	16	0
15~19	0	0	0	3
10~14	0	0	0	1
5~9	0	0	0	2
0~4	0	0	0	1
合計	24	24	48	15
平均年齢	33.83	28.00	30.91	22.26
扶養率			7.00	19.05
6歳未満再掲	0	0	0	4
高齢受給者再掲	0	0	0	0
(数)再掲	0	0	0	0
老健(除養老)再掲	0	0	0	0
老健法該当者の月額合計(単位千円)	0	0	0	0

年齢	55歳以上(月給千円)		60歳以下(及び39歳の再掲)	
	男	女	男	女
69歳	1	0	0	0
68歳	1	0	0	0
67歳	1	0	0	0
66歳	1	0	0	0
65歳	1	0	0	0
介護第1号予定者 64歳(0)	0	0	0	0
63歳	1	0	0	0
62歳	1	0	0	0
61歳	1	0	0	0
60歳	1	0	0	0
59歳	1	0	1	0
58歳	1	0	0	1
57歳	1	0	0	0
56歳	1	0	0	0
55歳	1	0	0	0
介護第2号予定者 39歳(1,030)	2	0	2	0

特定疾病該当者数	0	0	0	0
継続療養該当者数	0	0	0	0
遠隔地該当者数				
選隔地該当者数(老健法該当者再掲)				
標準負担減額	0	0	0	0
標準負担減額(長期)	0	0	0	0
任職標準負担減額	0	0	0	0
標準負担減額(長期)	0	0	0	0

一 上記の75歳以上(昭和7年9月30日以前生まれの場合は70歳以上)の各年齢層の人数合計とは、一致しません。老健法上では、4月2日~4月末日に75歳(昭和7年9月30日以前生まれの場合は70歳)になられた方は対象者に含めないためです。

事業所 12 ライクスタッフィング株式会社

年齢層	本人		家族		計
	男	女	男	女	
90以上	0	0	0	0	0
85~89	0	0	0	0	0
80~84	0	0	0	0	0
75~79	0	0	0	0	0
70~74	0	0	1	4	5
65~69	2	2	4	2	7
60~64	7	6	13	0	3
55~59	14	40	54	1	10
50~54	29	51	80	2	8
45~49	65	109	174	1	12
40~44	117	132	249	1	19
35~39	208	184	392	3	28
30~34	307	324	631	6	45
25~29	504	479	983	10	39
20~24	440	589	1029	5	26
15~19	10	18	28	22	49
10~14	0	0	0	29	63
5~9	0	0	0	51	93
0~4	0	0	0	98	171
合計	1703	1934	3637	232	578
平均年齢	30.45	30.82	30.65	10.22	17.24
扶養率					0.16
6歳未満再掲	0	0	0	112	83
高齢受給者再掲	0	0	0	1	4
(健)再掲	0	0	0	0	0
老健(除健老)再掲	0	0	0	0	0
老健法該当者の月額合計 (単位千円)	0	0	0		

年齢	55歳以上、60歳以下、及び30歳の若年層 (月額計、千円)		本人		家族		計
	男	女	男	女	男	女	
69歳	0	0	0	0	1	1	2
68歳	0	1	1	1	0	1	1
67歳	2	0	2	1	1	1	2
66歳	0	1	1	0	0	2	2
65歳	0	0	0	0	0	0	0
介護第1号予定者 64歳 (160)	0	1	1	1	0	2	2
63歳	1	0	1	0	0	0	0
62歳	1	0	1	0	1	1	1
61歳	3	3	6	0	0	0	0
60歳	2	2	4	0	0	0	0
59歳	2	9	11	0	2	2	2
58歳	0	13	13	1	1	1	2
57歳	4	3	7	0	3	3	3
56歳	2	4	6	0	1	1	1
55歳	6	11	17	0	2	2	2
介護第2号予定者 39歳 (17,504)	38	25	63	1	2	3	3

特定疾病該当者数	0	0	0	0	0	0	0
継続療養該当者数	0	0	0	0	0	0	0
遠隔地該当者数							
老健法該当者再掲 (老健法該当者再掲)							
標準負担減額	1	0	1	1	1	1	2
標準負担減額(長期)	0	0	0	0	0	0	0
任職標準負担減額	0	0	0	0	0	0	0
任職標準負担減額(長期)	0	0	0	0	0	0	0

一 上記の75歳以上(昭和7年9月30日以前生まれの場合は70歳以上)の各年齢層の人数合計とは、一致しません。
老健法上では、4月2日~4月末日に75歳(昭和7年9月30日以前生まれの場合は70歳)になられた方は該当者に含めないためです。

(健保) 年齢別統計表 (老健法資料)

年齢層	本 人		家 族		計
	男	女	男	女	
90以上	0	0	0	0	0
85～89	0	0	0	0	0
80～84	0	0	0	0	0
75～79	0	0	0	0	0
70～74	0	0	0	0	0
65～69	0	0	0	0	0
60～64	2	1	3	0	0
55～59	0	0	0	1	1
50～54	2	1	3	0	0
45～49	0	5	5	0	0
40～44	0	2	2	0	0
35～39	2	6	8	0	1
30～34	3	5	8	1	2
25～29	10	6	16	0	2
20～24	1	10	11	0	1
15～19	0	0	0	0	0
10～14	0	0	0	0	0
5～9	0	0	0	1	1
0～4	0	0	0	2	4
合 計	20	36	56	4	12
平均年齢	34.25	33.33	33.66	11.00	25.37
扶養率					20.58
6歳未満児童	0	0	0	2	4
高齢受給者再掲	0	0	0	0	0
(老)再掲	0	0	0	0	0
老健(除密老)再掲	0	0	0	0	0
老健法該当者の月額合計 (単位千円)	0	0	0	0	0

年 齢 (月単位、千円)	本 人		家 族		計
	男	女	男	女	
69歳	0	0	0	0	0
68歳	0	0	0	0	0
67歳	0	0	0	0	0
66歳	0	0	0	0	0
65歳	0	0	0	0	0
介護第1号予定者 64歳(0)	0	0	0	0	0
63歳	0	0	0	0	0
62歳	1	0	1	0	0
61歳	0	0	0	0	0
60歳	1	1	2	0	0
59歳	0	0	0	0	1
58歳	0	0	0	0	0
57歳	0	0	0	0	0
56歳	0	0	0	0	0
55歳	0	0	0	0	0
介護第2号予定者 39歳(840)	1	1	2	0	0

特定疾病該当者数	0	0	0	0	0
継続療養該当者数	0	0	0	0	0
滞内地該当者数					
(老健法該当者再掲)					
標準負担減額	0	0	0	0	0
標準負担減額(長期)	0	0	0	0	0
任職標準負担減額	0	0	0	0	0
標準負担減額(長期)	0	0	0	0	0

一 上記の75歳以上(昭和7年9月30日以前生まれの場合は70歳以上)の各年齢層の人数合計とは、一致しません。
老健法上では、4月2日～4月末日に75歳(昭和7年9月30日以前生まれの場合は70歳)になられた方は対象者に含めないためです。

事業所 14 ライクアカデミー株式会社

年齢層	本人			家族		
	男	女	計	男	女	計
90以上	0	0	0	0	0	0
85~89	0	0	0	0	0	0
80~84	0	0	0	0	0	0
75~79	0	0	0	0	0	0
70~74	1	11	12	4	2	6
65~69	2	53	55	4	2	6
60~64	7	129	136	2	2	4
55~59	7	203	210	3	3	6
50~54	5	215	220	1	0	1
45~49	12	253	265	2	1	3
40~44	17	164	181	1	1	2
35~39	30	269	299	0	8	8
30~34	60	414	474	5	8	13
25~29	85	780	865	3	5	8
20~24	85	717	802	36	16	52
15~19	0	1	1	50	47	97
10~14	0	0	0	46	32	78
5~9	0	0	0	28	35	63
0~4	0	0	0	34	36	70
合計	311	3209	3520	219	198	417
平均年齢	31.51	35.50	35.14	17.07	16.16	16.64
扶養率						0.12
6歳未満再掲	0	0	0	36	42	78
高齢受給者再掲	1	11	12	4	2	6
(数) 再掲	0	0	0	0	0	0
老健(除喪老)再掲	0	0	0	0	0	0
老健法該当者の月額合計 (単位千円)	0	0	0	0	0	0

年齢	55歳以上69歳以下 (月額計・千円)		本人		家族	
	男	女	男	女	男	女
69歳	0	10	10	0	0	0
68歳	2	5	7	2	1	3
67歳	0	14	14	1	0	1
66歳	0	10	10	0	1	1
65歳	0	14	14	1	0	1
介護第1号予定者 64歳 (7,708)	2	23	25	0	0	0
63歳	1	21	22	0	1	1
62歳	0	24	24	1	0	1
61歳	2	19	21	1	0	1
60歳	2	42	44	0	1	1
59歳	1	34	35	2	1	3
58歳	2	43	45	0	0	0
57歳	2	51	53	0	1	1
56歳	1	38	39	0	1	1
55歳	1	37	38	1	0	1
介護第2号予定者 39歳 (12,568)	8	41	49	0	0	0

特定疾病該当者数	3	0	3	0	0	0
継続療養該当者数	0	0	0	0	0	0
通隔地該当者数						
通隔地該当者数 (老健法該当者再掲)						
標準負担減額	1	0	1	0	0	0
標準負担減額 (長期)	0	0	0	0	0	0
任意標準負担減額	0	0	0	0	0	0
任意標準負担減額 (長期)	0	0	0	0	0	0

一 上記の75歳以上(昭和7年9月30日以前生まれの場合は70歳以上)の各年齢層の人数合計とは、一致しません。
老健法上では、4月2日~4月末日に75歳(昭和7年9月30日以前生まれの場合は70歳)になられた方は対象者に含めないためです。

年齢層	本 人		家 族		計	
	男	女	男	女		
90以上	0	0	0	0	0	
85～89	0	0	0	0	0	
80～84	0	0	0	0	0	
75～79	0	0	0	0	0	
70～74	4	0	4	0	0	
65～69	12	2	14	0	2	
60～64	16	14	30	1	3	
55～59	39	29	68	0	5	
50～54	55	37	92	0	0	
45～49	40	36	76	0	2	
40～44	54	37	91	0	1	
35～39	56	16	72	0	1	
30～34	59	31	90	0	1	
25～29	73	35	108	1	1	
20～24	36	32	68	3	3	
15～19	0	2	2	6	3	
10～14	0	0	0	4	2	
5～9	0	0	0	6	0	
0～4	0	0	0	4	4	
合 計	444	271	715	25	19	44
平均年齢	40.63	41.15	40.83	14.20	43.57	26.88
扶 養 率						0.06
6歳未満再掲	0	0	0	6	0	6
高齢受給者再掲	4	0	4	0	0	0
(数) 再 掲	0	0	0	0	0	0
老健 (除障老) 再掲	0	0	0	0	0	0
老健法該当者の月額合計 (単位千円)	0	0	0	0	0	0

年 齢	55歳以上、69歳以下、及び70歳以上の再掲		家 族		計
	男	女	男	女	
69歳	1	0	1	0	1
68歳	3	0	3	0	0
67歳	4	0	4	0	0
66歳	2	1	3	0	1
65歳	2	1	3	0	0
介護第1号予定者 64歳 (500)	1	2	3	0	0
63歳	2	2	4	1	0
62歳	6	1	7	0	0
61歳	4	3	7	0	2
60歳	3	6	9	0	0
59歳	8	4	12	0	1
58歳	9	7	16	0	1
57歳	7	6	13	0	1
56歳	7	5	12	0	1
55歳	8	7	15	0	1
介護第2号予定者 39歳 (3,088)	10	5	15	0	1

特定疾病該当者数	1	0	1	0	0
継続療養該当者数	0	0	0	0	0
送附地該当者数					
送附地該当者数 (老健法該当者再掲)					
標準負担減額	1	0	1	0	0
標準負担減額 (長期)					
任意標準負担減額	0	0	0	0	0
任意標準負担減額 (長期)	0	0	0	0	0

一 上記の75歳以上(昭和7年9月30日以前生まれの場合は70歳以上)の各年齢層の人数合計とは、一致しません。
老健法上では、4月2日～4月末日に75歳(昭和7年9月30日以前生まれの場合は70歳)にられた方は対象者に含まないためです。

(健保) 年齢別統計表 (老健法資料)

年齢層	本人		家族		計
	男	女	男	女	
90以上	0	0	0	0	0
85~89	0	0	0	0	0
80~84	0	0	0	0	0
75~79	0	0	0	0	0
70~74	7	16	23	0	4
65~69	18	41	59	2	10
60~64	16	51	67	2	7
55~59	13	78	91	0	8
50~54	26	81	107	1	3
45~49	20	78	98	2	4
40~44	27	49	76	3	4
35~39	30	24	54	2	4
30~34	24	24	48	0	7
25~29	27	32	59	2	6
20~24	18	19	37	16	10
15~19	0	2	2	17	16
10~14	0	0	0	20	12
5~9	0	0	0	7	10
0~4	0	0	0	10	15
合計	226	495	721	184	1,204
平均年齢	43.71	49.32	47.56	19.27	30.28
扶養率					25.75
6歳未満再掲	0	0	0	12	17
高齢受給者再掲	7	15	22	0	4
(軽)再掲	0	0	0	0	0
老健(除重老)再掲	0	0	0	0	0
老健法該当者の月額合計 (単位千円)	0	0	0	0	0

年齢	55歳以上・69歳以下及び39歳の再掲		計	
	男	女	男	女
69歳	1	6	7	1
68歳	7	9	16	3
67歳	6	8	14	0
66歳	2	5	7	2
65歳	2	13	15	1
介護第1号予定者 64歳 (4,536)	5	12	17	0
63歳	1	7	8	3
62歳	2	10	12	1
61歳	4	12	16	2
60歳	4	10	14	0
59歳	2	14	16	2
58歳	1	16	17	0
57歳	5	22	27	3
56歳	3	14	17	2
55歳	2	12	14	1
介護第2号予定者 39歳 (2,590)	6	3	9	1

特定疾病該当者数	0	0	0	0
継続養老該当者数	0	0	0	0
透隔地該当者数				
透隔地該当者数				
標準負担減額 (老健法該当者再掲)	0	0	0	0
標準負担減額 (長期)	0	0	0	0
任意標準負担減額 (長期)	0	0	0	0

← 上記の75歳以上(昭和7年9月30日以前生まれの場合は70歳以上)の各年齢層の人数合計とは、一致しません。
老健法上では、4月2日~4月末日に75歳(昭和7年9月30日以前生まれの場合は70歳)になられた方は対象者に含めたいためです。

事業所	99 任意継続被保険者		本 人		家 族		計
	年 齢 層	男	女	男	女	計	
90 以上		0	0	0	0	0	0
85 ~ 89		0	0	0	0	0	0
80 ~ 84		0	0	0	0	0	0
75 ~ 79		0	0	0	0	0	0
70 ~ 74		1	0	1	0	0	0
65 ~ 69		1	0	1	0	0	0
60 ~ 64		0	0	0	0	0	0
55 ~ 59		0	0	0	0	0	0
50 ~ 54		0	0	0	0	0	0
45 ~ 49		0	0	0	0	0	0
40 ~ 44		0	0	0	0	0	0
35 ~ 39		2	0	2	0	0	0
30 ~ 34		0	1	1	0	0	0
25 ~ 29		0	1	1	0	0	0
20 ~ 24		0	1	1	0	0	0
15 ~ 19		0	0	0	0	0	0
10 ~ 14		0	0	0	0	0	0
5 ~ 9		0	0	0	0	0	0
0 ~ 4		0	0	0	0	0	0
合 計		4	3	7	0	0	0
平均 年 齢		53.25	28.33	42.57	0.00	0.00	0.00
扶 養 率							
6歳未満再掲		0	0	0	0	0	0
高齢受給者再掲		1	0	1	0	0	0
(控) 再 掲		0	0	0	0	0	0
老健 (除養老) 再掲		0	0	0	0	0	0
老健法該当者の月額全計 (単位千円)		0	0	0	0	0	0

年 齢	55歳以上69歳以下、及び39歳の再掲		本 人		家 族		計
	男	女	男	女	男	女	
69歳		0	0	0	0	0	0
68歳		0	0	0	0	0	0
67歳		0	0	0	0	0	0
66歳		1	0	1	0	0	0
65歳		0	0	0	0	0	0
介護第1号予定者 64歳 (0)		0	0	0	0	0	0
63歳		0	0	0	0	0	0
62歳		0	0	0	0	0	0
61歳		0	0	0	0	0	0
60歳		0	0	0	0	0	0
59歳		0	0	0	0	0	0
58歳		0	0	0	0	0	0
57歳		0	0	0	0	0	0
56歳		0	0	0	0	0	0
55歳		0	0	0	0	0	0
介護第2号予定者 39歳 (260)		1	0	1	0	0	0

特定疾病該当者数	0	0	0	0	0	0	0
継続療養該当者数	0	0	0	0	0	0	0
選隔地該当者数							
選隔地該当者数 (老健法該当者再掲)							
標準負担減額	0	0	0	0	0	0	0
標準負担減額 (長期)	0	0	0	0	0	0	0
任職標準負担減額	0	0	0	0	0	0	0
標準負担減額 (長期)	0	0	0	0	0	0	0

一 上記の75歳以上(昭和7年9月30日以前生まれの場合は70歳以上)の各年齢層の人数合計とは、一致しません。
老健法上では、4月2日~4月末日に75歳(昭和7年9月30日以前生まれの場合は70歳)になられた方は対象者に含めないためです。

事業所 ALL	年齢層	本人		計	家族		計
		男	女		男	女	
90以上	0	0	0	0	0	0	0
85~89	0	0	0	0	0	0	0
80~84	0	0	0	0	0	0	0
75~79	0	0	0	0	0	0	0
70~74	13	27	40	5	10	15	15
65~69	35	98	133	8	19	27	27
60~64	48	201	249	5	14	19	19
55~59	75	350	425	4	27	31	31
50~54	117	386	503	4	9	13	13
45~49	141	481	622	5	19	24	24
40~44	219	385	604	5	26	31	31
35~39	330	501	831	5	40	45	45
30~34	456	803	1259	12	58	70	70
25~29	702	1343	2045	16	42	58	58
20~24	588	1076	1664	60	48	108	108
15~19	10	23	33	95	96	191	191
10~14	0	0	0	100	82	182	182
5~9	0	0	0	95	88	183	183
0~4	0	0	0	149	130	279	279
合計	2734	5974	8708	568	708	1276	1276
平均年齢	33.43	35.34	34.74	14.36	22.37	18.80	18.80
扶養率						0.15	0.15
6歳未満再掲	0	0	0	169	148	317	317
高齢受給者再掲	13	26	39	5	10	15	15
(要)再掲	0	0	0	0	0	0	0
老健(除喪老)再掲	0	0	0	0	0	0	0
老健法該当者の月額合計 (単位千円)	0	0	0	0	0	0	0

年	55歳以上(月額計千円)	本人		計	家族		計
		男	女		男	女	
69歳		2	16	18	1	3	4
68歳		12	15	27	3	5	8
67歳		12	22	34	2	1	3
66歳		5	17	22	0	6	6
65歳		4	28	32	2	4	6
介護第1号予定者 64歳 (12,904)		8	38	46	0	3	3
63歳		5	30	35	1	4	5
62歳		10	35	45	1	2	3
61歳		13	37	50	3	2	5
60歳		12	61	73	0	3	3
59歳		14	61	75	2	7	9
58歳		12	79	91	1	3	4
57歳		18	82	100	0	8	8
56歳		13	61	74	0	5	5
55歳		18	67	85	1	4	5
介護第2号予定者 39歳 (37,880)		66	75	141	1	4	5

特定疾病該当者数	4	0	4	0	0	0
継続療養該当者数	0	0	0	0	0	0
遠隔地該当者数						
遠隔地該当者数 (老健法該当者再掲)						
標準負担減額	3	0	3	1	1	2
標準負担減額(長期)	0	0	0	0	0	0
任職標準負担減額	0	0	0	0	0	0
標準負担減額(長期)	0	0	0	0	0	0

一 上記の75歳以上(昭和7年9月30日以前生まれの場合は70歳以上)の各年齢層の人数合計とは、一致しません。
老健法上では、4月2日~4月末日に75歳(昭和7年9月30日以前生まれの場合は70歳)になられた方は対象者に含めないためです。

STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき 課題
1	ア	40歳以上の加入者増加一途により、循環器系の医療費が高くなる可能性がある。	➔	特定健診結果を活用し、適宜、事業主から受診勧奨してもらう。	✓
2	ア	40歳以上の加入者増加一途に伴い、メタボリックシンドローム該当者が増える可能性がある。	➔	特定健診結果を活用し、適宜、事業主から受診勧奨または特定保健指導への参加を促してもらう。	✓

基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	被保険者の男女比： 男32%対女68%と女性比率が圧倒的に高い。	➔	婦人科がんオプション検査補助については、医療費適正化への寄与度を検証するに足るデータが不十分なため、前年度と同じ条件で実施する。
2	前期高齢者の占める割合：総加入者数9436人のうち、215人を占める。	➔	生活習慣病による医療費高騰化対策の検討が必要。

保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点

STEP 3 保健事業の実施計画

事業全体の目的
医療費の適正化、中でも特に循環器系の医療費増大の抑制を目的とする。

事業全体の目標
レセプト分析により、循環器系の医療費の対前年比10%減を目標とする。

事業の一覧

職場環境の整備

加入者への意識づけ

個別の事業

特定健康診査事業	特定健康診査（被扶養者）
特定保健指導事業	特定保健指導
疾病予防	特定健康診査（被保険者）
疾病予防	婦人科がん検診
疾病予防	胃がん検診
疾病予防	重症化予防
その他	ジェネリック薬希望シールの配布
その他	ジェネリック差額通知の発送
その他	医療費通知の発送

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)	実施計画	事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者									
アウトプット指標												アウトカム指標				
職場環境の整備																
加入者への意識づけ																
個別の事業																
特定健康診査事業	3	既存(法定)	特定健康診査(被扶養者)	全て	男女	40～74	被扶養者	1	ス	組合HPに、被扶養者向けの予約方法等の案内文書を掲示する。	ス	組合HPに随時個別予約できるようにする。	350	【目的】被扶養者の健診結果を把握することにより、生活習慣病の早期発見・未然防止を図る。 【概要】組合HPに受診可能な健診機関や予約方法を掲載し、自己負担ゼロであることを周知し、受診勧奨する。	受診予約等の利便性を高めることにより、生活習慣病対策への認知度・意識付けの維持・向上を目指す。	40歳以上の加入者増加一途に伴い、メタボリックシンドローム該当者が増える可能性がある。
特定保健指導事業	4	既存(法定)	特定保健指導	全て	男女	40～74	基準該当者	1	ケ	初回面談の実施率向上のため、事業所内会議室の利用等で事業主からの協力を得ている。	ア	各事業主に指導対象者一覧を送付し、事業主からも社内イントラへの掲示等により対象者へ働きかけてもらっている。	5,830	【目的】特定保健指導の対象者に生活習慣の改善を促すことにより、生活習慣病の未然防止を図るとともに、医療費高騰化の抑制を目指す。 【概要】組合HP上での情報発信、ならびに委託先からの案内書類の発送を通して、自己負担ゼロであることを周知し、受診勧奨する。	タイムリーに特定健診結果を特定保健指導の案内に繋げることにより、生活習慣病対策への認知度・意識付けの維持・向上を目指す。	40歳以上の加入者増加一途に伴い、メタボリックシンドローム該当者が増える可能性がある。
疾病予防	3	既存(法定)	特定健康診査(被保険者)	全て	男女	40～74	被保険者	3	シ	事業主ごとに、月次で階層化の済んだ特定健診結果の一覧を作成し、情報共有している。	ア	各事業主と、月次での(累計)受診率を共有し、適宜、事業主からも受診勧奨の働きかけをしてもらっている。		【目的】生活習慣病予防の意識づけを図る。 -【概要】35歳以上の被保険者に対し、健保が指定した生活習慣病健診の受診費用を、事業主と折半し自己負担ゼロとすることにより、法定健診を上回る内容の健診の受診機会を提供する。	法定の特定健康診査項目を上回る健診内容とすることにより、特定健診の受診率向上を図るとともに、生活習慣病対策への認知度・意識付けの維持・向上を目指す。	40歳以上の加入者増加一途に伴い、メタボリックシンドローム該当者が増える可能性がある。
	3	既存	婦人科がん検診	全て	女性	18～74	加入者全員	3	ケ	子宮頸部細胞診と乳房エコーorマンモグラフィーの選択制とし、組合補助額(7000円)を超過した額を事業主が補助し、自己負担額ゼロとした。	ア,ス	個々人が健診予約システムから随時予約できるようにしつつ、本社等の大規模拠点では、事業主から集団健診と合わせて希望者リストを入手し、健診機関にまとめて予約確保してもらう。	11,214	【目的】自己負担ゼロとすることにより、女性特有のがんの予防意識の向上を目指す。 【概要】子宮頸部細胞診と乳房エコーorマンモグラフィーの選択制とし、組合補助額(7000円)を超過した額を事業主が補助し、自己負担額ゼロとした。	婦人科がん検診の受診を促進することにより、がん罹患率の抑制を目指す。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
	3	既存	胃がん検診	全て	男女	35～74	被保険者、任意継続者	3	ケ	X線と内視鏡の選択制とし、自己負担額は組合補助額(10000円)と事業主補助額(2000円)を超過した場合のみとする。	ア,ス	個々人が健診予約システムから随時予約できるようにしつつ、本社等の大規模拠点では、事業主から集団健診と合わせて希望者リストを入手し、健診機関にまとめて予約確保してもらう。	4,530	【目的】自己負担を低くすることにより、胃がんの予防意識の向上を目指す。 【概要】X線と内視鏡の選択制とし、自己負担額は組合補助額(10000円)と事業主補助額(2000円)を超過した場合のみとする。	胃がん検診の受診を促進することにより、がん罹患率の抑制を目指す。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
4	新規	重症化予防	全て	男女	40～74	被保険者	1	ケ	特定健診結果で、血圧・血糖・血中脂質のいずれかが基準値外かつ投薬治療を現に受けていない人を抽出し、委託先に当該データを共有し、専門家からの架電による受診勧奨を行う。	ア	組合：対象者の判定と抽出、健診結果データの連携 委託先：案内文書の発送と架電日程調整 事業主：社内イントラ等で利用の呼びかけ		【目的】生活習慣病関連の疾病にかかる医療費高騰化の抑制(特に前期高齢者)のため -【概要】50名規模でトライアル実施し、令和3年度からの本格実施(500名規模)に向けて、より効果的な実行フローを確立させる。	特定保健指導の補完施策として、同指導の対象外となった「隠れメタボ」者に対しても、受診勧奨を実行することにより、生活習慣病対策を重層的に実施、心筋梗塞や脳卒中リスク低減をはかり、医療費適正化を目指す。	40歳以上の加入者増加一途により、循環器系の医療費が高くなる可能性がある。	
																実施率(【実績値】 - 【目標値】令和2年度：80%)実際に電話指導した人数÷案内文書を発送した対象者数
その他	7	既存	ジェネリック薬希望シールの配布	全て	男女	18～74	加入者全員	1	ス	シールを貼付した保険証を、説明文書1枚ものを添付し、各事業主経由で本人に配布する。	ア	事業主の理解を得て、上記シールを配布してもらう。	【目的】ジェネリック薬に対する理解を促進し、医療費適正化を目指す。 -【概要】保険証カードに貼付できるサイズのシールを印刷し、配布する。	ジェネリック薬希望シールの配布により、ジェネリック薬の使用率の向上を目指す。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)	
																シール貼付率(【実績値】 - 【目標値】令和2年度：100%)
	7	既存	ジェネリック差額通知の発送	全て	男女	18～74	加入者全員	1	ス	対象者の絞り込み：先発薬との差額が1000円/月以上見込まれる加入者に限定する。	ア	事業主の理解を得て、上記通知書類を配布してもらう。	【目的】ジェネリック薬に対する理解を促進し、医療費適正化を目指す。 -【概要】レセプト点検データを基に医療費分析し、差額通知の対象を決定、通知書を作成・発送する。	ジェネリック差額通知の発送により、ジェネリック薬の使用率の向上を目指す。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)	
																発送率(【実績値】 - 【目標値】令和2年度：80%)発送した対象者数÷絞り込みに該当した対象者総数
2	既存	医療費通知の発送	全て	男女	18～74	加入者全員	1	ス	対象者：レセプト情報を基に、世帯単位の合計額が基準額を上回った被保険者に絞り込む。概ね1000人規模を想定。	ス	事業主の理解を得て、社内便にて上記通知書類を配布してもらう。	【目的】年間の医療費を集計した資料を対象者に示すことにより、医療費適正化への意識づけを促す。	医療費通知の発送により、医療費適正化への意識づけが促進され、実績値の経年比較での改善を目指す。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)		
															達成率(【実績値】 - 【目標値】令和2年度：100%)発送した対象者数÷絞り込みに該当した対象者総数	設立して初の試みであり、比較対象の実績値がないから。(アウトカムは設定されていません)

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)	実施計画	事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者									
アウトプット指標										アウトカム指標						

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業

注3) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認(要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況) ウ. 受診状況の確認(がん検診・歯科健診の受診状況) エ. ICTの活用(情報作成又は情報提供でのICT活用など) オ. 専門職による対面での健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施

キ. 定量的な効果検証の実施 ク. 対象者の抽出(優先順位づけ、事業所の選定など) ケ. 参加の促進(選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備) コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 シ. 事業主と健康課題を共有 ス. その他

注4) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 専門職との連携体制の構築(産業医・産業保健師を除く) エ. 他の保険者との共同事業 オ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 カ. 自治体との連携体制の構築 キ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 ク. 保険者協議会との連携体制の構築 ケ. その他の団体との連携体制の構築 コ. 就業時間内も実施可(事業主と合意) サ. 運営マニュアルの整備(業務フローの整理) シ. 人材確保・教育(ケースカンファレンス/ライブラリーの設置) ス. その他

STEP 4-1 事業報告

事業の一覧

職場環境の整備

加入者への意識づけ

個別の事業

- | | |
|---|-----------------|
| 1 | 特定健康診査（被保険者） |
| 2 | 特定健康診査（被扶養者） |
| 3 | 婦人科がん検診 |
| 4 | 胃がん検診 |
| 5 | 特定保健指導 |
| 6 | ジェネリック薬希望シールの配布 |
| 7 | ジェネリック差額通知の発送 |
| 8 | 医療費通知の発送 |
| 9 | 重症化予防 |

【保健事業の基盤】 職場環境の整備

【保健事業の基盤】 加入者への意識づけ

【個別の事業】

1	事業名	特定健康診査（被保険者）							
健康課題との関連	40歳以上の加入者増加一途に伴い、メタボリックシンドローム該当者が増える可能性がある。								
分類									
注1)事業分類	計画	3-イ	実施主体	計画	3. 健保組合と事業主との共同事業	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存(法定)
	実績			実績					
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 被保険者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 被保険者							
注2)プロセス分類	計画	シ	実施方法	計画	事業主ごとに、月次で階層化の済んだ特定健診結果の一覧を作成し、情報共有している。			予算額	-千円
	実績			実績	事業主ごとに、月次で階層化の済んだ特定健診結果の一覧を作成し、情報共有している。				
注3)ストラクチャー分類	計画	ア	実施体制	計画	各事業主と、月次での（累計）受診率を共有し、適宜、事業主からも受診勧奨の働きかけをしてもらっている。			決算額	-千円
	実績			実績	各事業主と、月次での（累計）受診率を共有し、適宜、事業主からも受診勧奨の働きかけをもらっている。				
実施計画 (令和2年度)	<p>【目的】生活習慣病予防の意識づけを図る。</p> <p>【概要】35歳以上の被保険者に対し、健保が指定した生活習慣病健診の受診費用を、事業主と折半し自己負担ゼロとすることにより、法定健診を上回る内容の健診の受診機会を提供する。</p>								
振り返り	実施状況・時期		【実施状況】4月1日時点での対象者数2702人に対し、受診者は1570人。受診率57.6%であった。※6月1日現在 【時期】新型コロナ第1波の影響により）R2年7月～R3年3月まで。						
	成功・推進要因		●代行会社を通さない直接契約の推進：被保険者セルフ予約に頼らず事業主から健診機関にまとめて予約できるように三者間契約数を伸ばした。が終わってみれば、目立った受診率アップは見られなかった。						
	課題及び阻害要因		●母体企業の事業特性：派遣・保育・介護のいずれも現業従業員比率が圧倒的に高く、社内イントラネットやメールは言うに及ばず、携帯電話への連絡も応答率が極めて低い。						
評価	3. 60%以上								
事業目標									

法定の特定健康診査項目を上回る健診内容とすることにより、特定健診の受診率向上を図るとともに、生活習慣病対策への認知度・意識付けの維持・向上を目指す。

アウトプット指標

実施率（受診率）（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和2年度：90%/57.6% 【達成度】 64.4%） 設立認可前に策定した「実施計画」の目標実施率を達成している。[-]

アウトカム指標

設立2年目であることに加え、被保険者の入れ替わりが激しいことから、比較に使えるデータ集積が十分でないため。
(アウトカムは設定されていません)

2	事業名	特定健康診査（被扶養者）							
健康課題との関連	40歳以上の加入者増加一途に伴い、メタボリックシンドローム該当者が増える可能性がある。								
分類									
注1)事業分類	計画	3-ア	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	特定健康診査事業	新規・既存区分	既存(法定)
	実績	3-ア		実績	1. 健保組合				
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 被扶養者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 被扶養者							
注2)プロセス分類	計画	ス	実施方法	組合HPに、被扶養者向けの予約方法等の案内文書を掲示する。				予算額	350千円
	実績	ス		組合HPに、被扶養者向けの予約方法等の案内文書を掲示する。					
注3)ストラクチャー分類	計画	ス	実施体制	組合HPに随時個別予約できるようにする。				決算額	-千円
	実績	ス		組合HPに随時個別予約できるようにする。					
実施計画 (令和2年度)	<p>【目的】 被扶養者の健診結果を把握することにより、生活習慣病の早期発見・未然防止を図る。</p> <p>【概要】 組合HPに受診可能な健診機関や予約方法を掲載し、自己負担ゼロであることを周知し、受診勧奨する。</p>								
振り返り	<p>実施状況・時期 4月1日時点での対象者数153人に対し、受診者は14人。受診率9.2%であった。 【時期】 新型コロナ第1波の影響により) R2年7月～R3年3月まで。</p> <p>成功・推進要因 被保険者からの働きかけ</p> <p>課題及び阻害要因 ●認知度：特定健診そのものが余り知られていない。</p>								
評価	1. 39%以下								
事業目標									

受診予約等の利便性を高めることにより、生活習慣病対策への認知度・意識付けの維持・向上を目指す。

アウトプット指標

実施率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和2年度：10%/9.2% 【達成度】 75.0%） 設立認可前に策定した「実施計画」の目標実施率を達成している。[認知度対策として、R2年度より①設立時より2年間継続被扶養者に対する受診勧奨DMの発送（2回）、②組合HP「お知らせ」に受診を促す記事を複数回に渡り掲出する。]

アウトカム指標

設立2年目であることに加え、被保険者の入れ替わりが激しいことから、比較に使えるデータ集積が十分でないため。
(アウトカムは設定されていません)

3事業名	婦人科がん検診							
健康課題との関連	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）							
分類								
注1)事業分類	計画	3-ウ 実施主体	計画	3. 健保組合と事業主との共同事業	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績		実績					
事業の内容								
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 女性 年齢 18～74 対象者分類 加入者全員						
	実績	対象事業所 全て 性別 女性 年齢 18～74 対象者分類 加入者全員						
注2)プロセス分類	計画	ケ 実施方法	計画	子宮頸部細胞診と乳房エコーorマンモグラフィーの選択制とし、組合補助額（7000円）を超過した額を事業主が補助し、自己負担額ゼロとした。	予算額	11,214千円		
	実績		実績					
注3)ストラクチャー分類	計画	ア, ス 実施体制	計画	個々人が健診予約システムから随時予約できるようにしつつ、本社等の大規模拠点では、事業主から集団健診と合わせて希望者リストを入手し、健診機関にまとめて予約確保してもらう。	決算額	9,353千円		
	実績		実績					
実施計画 (令和2年度)	【目的】自己負担ゼロとすることにより、女性特有のがんの予防意識の向上を目指す。 【概要】子宮頸部細胞診と乳房エコーorマンモグラフィーの選択制とし、組合補助額（7000円）を超過した額を事業主が補助し、自己負担額ゼロとした。							
振り返り	実施状況・時期		【実施状況】4月1日時点での20～74歳の女性加入者6321人に対し、上記婦人科検診の受診者は1458人。受診率は23%であった。					
	成功・推進要因		レセプトデータと健診結果データの蓄積と訴求力ある効果分析					
	課題及び阻害要因		がん検診に対する無関心					
評価	3. 60%以上							

事業目標	
婦人科がん検診の受診を促進することにより、がん罹患率の抑制を目指す。	
アウトプット指標	
受診率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和2年度：70%/23% 【達成度】 32.9%）受診者数÷期初の女性の被保険者数・被扶養者数[【評価点】 R1からの進捗度（14%⇒23%に上昇）。	
【残課題】 支出した補助金額が当該医療費とバランスが取れているかどうかを客観的に評価すること。]	
アウトカム指標	設立2年目であることに加え、被保険者の入れ替わりが激しいことから、比較に使えるデータ集積が十分でないため。 (アウトカムは設定されていません)

4	事業名	胃がん検診							
健康課題との関連		該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）							
分類									
注1)事業分類	計画	3-ウ	実施主体	計画	3. 健保組合と事業主との共同事業	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	3-ウ		実績	3. 健保組合と事業主との共同事業				
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 35～74 対象者分類 被保険者,任意継続者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 35～74 対象者分類 被保険者,任意継続者							
注2)プロセス分類	計画	ケ	実施方法	計画	X線と内視鏡の選択制とし、自己負担額は組合補助額（10000円）と事業主補助額（2000円）を超過した場合のみとする。		予算額	4,530千円	
	実績	ケ		実績	X線と内視鏡の選択制とし、自己負担額は組合補助額（10000円）と事業主補助額（2000円）を超過した場合のみとする。				
注3)ストラクチャー分類	計画	ア,ス	実施体制	計画	個々人が健診予約システムから随時予約できるようにしつつ、本社等の大規模拠点では、事業主から集団健診と合わせて希望者リストを入手し、健診機関にまとめて予約確保してもらう。		決算額	4,750千円	
	実績	ア,ス		実績	個々人が健診予約システムから随時予約できるようにしつつ、本社等の大規模拠点では、事業主から集団健診と合わせて希望者リストを入手し、健診機関にまとめて予約確保してもらう。				
実施計画 (令和2年度)		【目的】 自己負担を低くすることにより、胃がんの予防意識の向上を目指す。 【概要】 X線と内視鏡の選択制とし、自己負担額は組合補助額（10000円）と事業主補助額（2000円）を超過した場合のみとする。							

振り返り	実施状況・時期	実施状況】4月1日時点での対象者数2555人に対し、受診者は417人。受診率16%であった。※予算算出の基礎453人との比率では92%【時期】新型コロナ第1波の影響により）R2年7月～R3年3月まで。
	成功・推進要因	レセプトデータと健診結果データの蓄積と訴求力ある効果分析
	課題及び阻害要因	がん検診に対する無関心

評価 3. 60%以上

事業目標

胃がん検診の受診を促進することにより、がん罹患率の抑制を目指す。

アウトプット指標

受診率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和2年度：50%/16% 【達成度】 32.0%）受診者数÷期初の被保険者数【評価点】 R1からの進捗度（10%から16%に上昇）【残課題】 支出した補助金額が当該医療費とバランスが取れているかどうかを客観的に評価すること。】

アウトカム指標

設立2年目であることに加え、被保険者の入れ替わりが激しいことから、比較に使えるデータ集積が十分でないため。
(アウトカムは設定されていません)

5 事業名 特定保健指導

健康課題との関連 40歳以上の加入者増加一途に伴い、メタボリックシンドローム該当者が増える可能性がある。

分類

注1)事業分類	計画	4-ア	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	特定保健指導事業	新規・既存区分	既存(法定)
	実績	4-ア		実績	1. 健保組合				

事業の内容

対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 基準該当者					
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 基準該当者					
注2)プロセス分類	計画	ケ	実施方法	計画	初回面談の実施率向上のため、事業所内会議室の利用等で事業主からの協力を得ている。	予算額	5,830千円
	実績	ケ		実績	初回面談の実施率向上のため、事業所内会議室の利用等で事業主からの協力を得ている。		
注3)ストラクチャー分類	計画	ア	実施体制	計画	各事業主に指導対象者一覧を送付し、事業主からも社内イントラへの掲示等により対象者へ働きかけてもらっている。	決算額	796千円
	実績	ア		実績	各事業主に指導対象者一覧を送付し、事業主からも社内イントラへの掲示等により対象者へ働きかけてもらっている。		

実施計画 (令和2年度)	<p>【目的】 特定保健指導の対象者に生活習慣の改善を促すことにより、生活習慣病の未然防止を図るとともに、医療費高騰化の抑制を目指す。</p> <p>【概要】 組合HP上での情報発信、ならびに委託先からの案内書類の発送を通して、自己負担ゼロであることを周知し、受診勧奨する。</p>
振り返り	<p>実施状況・時期</p> <p>【実施状況】 3月31日時点の指導判定者122人のうち、申込受付があったのは12人。うち完了者はゼロ。初回面接が終わったのは、積極的支援3人・動機付け支援5人であった。</p> <p>【時期】 R2年11月～R3年3月末（継続支援中）※前年度の初動が年越し後のR2年2月であったことを考慮すると滑り出し好調だったがコロナ受診控えもあってか、架電段階から進捗ペースが鈍った感がある。</p> <p>成功・推進要因 事業主からの対象者への勧奨後押し</p> <p>課題及び阻害要因</p> <p>●健診結果データ判定までの所要時間：健診機関→健診代行会社→当組合の場合、データ到着まで2～3か月かかるため、委託先に当組合が判定した結果を渡すのは、その1か月後になってしまい、受診した日からのタイムラグが拡大しやすい。</p>
評価	1. 39%以下

事業目標	タイムリーに特定健診結果を特定保健指導の案内に繋げることにより、生活習慣病対策への認知度・意識付けの維持・向上を目指す。
アウトプット指標	実施率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和2年度：30%/0% 【達成度】 0%） 設立認可前に策定した「実施計画」の目標実施率を達成している。[-]
アウトカム指標	設立2年目であることに加え、被保険者の入れ替わりが激しいことから、比較に使えるデータ集積が十分でないため。 (アウトカムは設定されていません)

6 事業名	ジェネリック薬希望シールの配布									
健康課題との関連	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）									
分類										
注1)事業分類	計画	7-ア	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	その他	新規・既存区分	既存	
	実績	7-ア		実績	1. 健保組合					
事業の内容										
対象者	計画	対象事業所 全て		性別	男女	年齢	18～74	対象者分類 加入者全員		
	実績	対象事業所 全て		性別	男女	年齢	18～74	対象者分類 加入者全員		
注2)プロセス分類	計画	ス	実施方法	計画	シールを貼付した保険証を、説明文書1枚ものを添付し、各事業主経由で本人に配布する。				予算額	-千円
	実績	ス		実績	シールを貼付した保険証を、説明文書1枚ものを添付し、各事業主経由で本人に配布する。					

注3)ストラクチャー分類	計画	実施体制	計画	事業主の理解を得て、上記シールを配布してもらう。	決算額	-千円
	実績		実績			

実施計画 (令和2年度) 【目的】ジェネリック薬に対する理解を促進し、医療費適正化を目指す。
【概要】保険証カードに貼付できるサイズのシールを印刷し、配布する。

振り返り
実施状況・時期 【実施状況】R1年12月より継続実行中。
【時期】通期
成功・推進要因 各事業主の理解・協力
課題及び阻害要因 加入者からの反対

評価 5. 100%

事業目標

ジェネリック希望シールの配布により、ジェネリック薬の使用率の向上を目指す。

アウトプット指標 シール貼付率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和2年度：100%/100% 【達成度】 100.0%） -[-]

アウトカム指標
ジェネリック薬使用率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和2年度：85%/86% 【達成度】 101.2%） -[前年同期比で評価する。具体的には、4月～12月のジェネリック薬（調剤のみ）の平均使用率を用いて、2021年÷2020年の変化率を算出する。]

7 事業名 **ジェネリック差額通知の発送**

健康課題との関連 該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）

分類

注1)事業分類	計画	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	その他	新規・既存区分	既存
	実績		実績					

事業の内容

対象者
計画 **対象事業所** 全て **性別** 男女 **年齢** 18～74 **対象者分類** 加入者全員
実績 **対象事業所** 全て **性別** 男女 **年齢** 18～74 **対象者分類** 加入者全員

注2)プロセス分類	計画	実施方法	計画	対象者の絞り込み：先発薬との差額が1000円/月以上見込まれる加入者に限定する。	予算額	-千円
	実績		実績			

注3)ストラクチャー分類	計画	実施体制	計画	事業主の理解を得て、上記通知書類を配布してもらう。	決算額	242千円
	実績		実績			

実施計画 (令和2年度) 【目的】ジェネリック薬に対する理解を促進し、医療費適正化を目指す。
【概要】レセプト点検データを基に医療費分析し、差額通知の対象を決定、通知書を作成・発送する。

振り返り
実施状況・時期 【実施状況】対象期間をR2年4月～R2年9月診療分とし、癌と精神疾患を除く全ての薬剤について、家族単位で節減可能額500円以上を抽出した。計858件。
【時期】R2年12月に事業主経由で配布した。
成功・推進要因 各事業主の理解・協力
課題及び阻害要因 加入者の無関心

評価 5. 100%

事業目標

ジェネリック差額通知の発送により、ジェネリック薬の使用率の向上を目指す。

アウトプット指標 発送率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和2年度：80%/100% 【達成度】 125.0%） 発送した対象者数÷絞り込みに該当した対象者総数[-]

アウトカム指標
ジェネリック薬使用率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和2年度：85%/86% 【達成度】 101.2%）ジェネリック薬使用率の変化率（評価対象期間÷通知対象期間）[前年同期比で評価する。具体的には、4月～12月のジェネリック薬（調剤のみ）の平均使用率を用いて、2021年÷2020年の変化率を算出する。]

8 事業名 医療費通知の発送

健康課題との関連 該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）

分類

注1)事業分類	計画	2	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	その他	新規・既存区分	既存
	実績			実績					

事業の内容

対象者
計画 **対象事業所** 全て **性別** 男女 **年齢** 18～74 **対象者分類** 加入者全員
実績 **対象事業所** 全て **性別** 男女 **年齢** 18～74 **対象者分類** 加入者全員

注2)プロセス分類	計画	ス	実施方法	計画	対象者：レセプト情報を基に、世帯単位の合計額が基準額を上回った被保険者に絞り込む。概ね1000人規模を想定。	予算額	-千円
	実績			実績			

注3)ストラクチャー分類	計画	実施体制	計画	事業主の理解を得て、社内便にて上記通知書類を配布してもらう。	決算額	650千円
	実績		実績			

実施計画 (令和2年度) 【目的】 年間の医療費を集計した資料を対象者に示すことにより、医療費適正化への意識づけを促す。

振り返り

実施状況・時期
 【実施状況】 対象期間をR2年1月～12月とし、世帯単位での自己負担額が80000円を超える被保険者を抽出（697件）、ジェネリック差額通知との統合通知書として、委託先から個宅配送した。
 【時期】 R3年1月～2月末

成功・推進要因 要件定義の確定が遅れたものの、レセプト点検委託先との細やかな意思疎通と業務連携があつて、短納期で完了することができた。

課題及び阻害要因 【残課題】 柔整療養費（現金給付データ）を包含した医療費通知の作成。

評価 4. 80%以上

事業目標

医療費通知の発送により、医療費適正化への意識づけが促進され、実績値の経年比較での改善を目指す。

アウトプット指標 達成率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和2年度：100%/100% 【達成度】 100.0%） 発送した対象者数÷絞り込みに該当した対象者総数[-]

アウトカム指標 設立して初の試みであり、比較対象の実績値がないから。
 (アウトカムは設定されていません)

9 事業名 **重症化予防**

健康課題との関連 40歳以上の加入者増加一途により、循環器系の医療費が高くなる可能性がある。

分類

注1)事業分類	計画	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	新規
	実績		実績					

事業の内容

対象者

計画 **対象事業所** 全て **性別** 男女 **年齢** 40～74 **対象者分類** 被保険者

実績 **対象事業所** 全て **性別** 男女 **年齢** 40～74 **対象者分類** 被保険者

注2)プロセス分類	計画	実施方法	計画	特定健診結果で、血圧・血糖・血中脂質のいずれかが基準値外かつ投薬治療を現に受けていない人を抽出し、委託先に当該データを共有し、専門家からの架電による受診勧奨を行う。	予算額	-千円
	実績		実績			

注3)ストラクチャー分類	計画	実施体制	計画	組合： 対象者の判定と抽出、健診結果データの連携 委託先： 案内文書の発送と架電日程調整 事業主： 社内イントラ等で利用の呼びかけ	決算額	133千円
	実績		実績	組合： 対象者の判定と抽出、健診結果データの連携 委託先： 案内文書の発送と架電日程調整 事業主： 社内イントラ等で利用の呼びかけ		

実施計画 (令和2年度) 【目的】生活習慣病関連の疾病にかかる医療費高額化の抑制（特に前期高齢者）のため
【概要】50名規模でトライアル実施し、令和3年度からの本格実施（500名規模）に向けて、より効果的な実行フローを確立させる。

振り返り

実施状況・時期
【実施状況】R3からの本格稼働前のトライアルとして50名規模で実施した。11月～1月までの各月で対象者を抽出、計67名に対し、啓発用資料とアンケートを送付し、電話指導について文書同意が得られた33名に再委託先より架電。実施率は49%であった。
【時期】R2年11月～R3年3月末（ただし、同月末までに完了に至らず、4月以降も継続した）

成功・推進要因 事業主からの対象者への勧奨後押し

課題及び阻害要因
●電話指導の可視化：再委託先による電話指導やりとりログがもらえないため、実感が掴めないまま事業終了に至ったこと。同様に最終報告書が届くまでフィードバックが得られないため、実施期間中のブラッシュアップが図れなかったこと。

評価 1. 39%以下

事業目標
特定保健指導の補完施策として、同指導の対象外となった「隠れメタボ」者に対しても、受診勧奨を実行することにより、生活習慣病対策を重層的に実施、心筋梗塞や脳卒中リスク低減をはかり、医療費適正化を目指す。

アウトプット指標
実施率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和2年度：80%/49% 【達成度】61.3%）実際に電話指導した人数÷案内文書を送付した対象者数[トライアル実施のため、健診受診率の最も高い記号14に限定し抽出した67名中、電話指導まで漕ぎ着けられたのが33名。実施率49%は、委託先によると他健保平均値に近いとのこと。]

アウトカム指標 組合設立以来初の試みであるため、アウトカム資料に使えるデータの蓄積がないから。
(アウトカムは設定されていません)

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認（要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況） ウ. 受診状況の確認（がん検診・歯科健診の受診状況） エ. ICTの活用（情報作成又は情報提供でのICT活用など）
オ. 専門職による対面での健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施 キ. 定量的な効果検証の実施 ク. 対象者の抽出（優先順位づけ、事業所の選定など）
ケ. 参加の促進（選抜制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備） コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 シ. 事業主と健康課題を共有 ス. その他

注3) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 専門職との連携体制の構築（産業医・産業保健師を除く） エ. 他の保険者との共同事業 オ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 カ. 自治体との連携体制の構築
キ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 ク. 保険者協議会との連携体制の構築 ケ. その他の団体との連携体制の構築 コ. 就業時間内も実施可（事業主と合意） サ. 運営マニュアルの整備（業務フローの整理）
シ. 人材確保・教育（ケースカンファレンス/ライブラリーの設置） ス. その他